

イギリスの籠(かご)メーカーから 売上高 1 兆円企業へ ~WPP グループについて~

カンター・ジャパンは、本社をイギリスに置く上場企業ダブリューピーピー(以下 WPP)グループの中核事業の一つである調査・コンサルティング部門(カンター・グループ)に属します。WPP グループは、2011 年の売上高が 100 億ポンド(日本円で約 1 兆 2,000 億円。1 ポンド 120 円で計算)を超えるグローバル企業であり、広告業やパブリック・リレーション(PR)業などのマーケティングに関連するサービスを提供しています。



WPP の前身は、イギリスのワイヤー・アンド・プラスチック・プロダクツ社(Wire and Plastic Products Plc.)というワイヤー製のバスケット(籠)を作る小さなメーカーに過ぎませんでした。しかし、現在の WPP は、業界最大規模の売上高を誇るマーケティングサービスカンパニーへと変貌を遂げています。

■ 籠(かご)メーカーから売上高 1 兆円企業へ

WPP の歴史は、現会長マーティン・ソレルがワイヤー・アンド・プラスチック・プロダクツ社の経営権を取得した 1985 年に始まります。会社の代表に就任後、ソレルは社名を WPP に変更し、広告代理店や PR 会社を中心に事業を拡大していきます。日本でも、1998 年に広告代理店 ADK(アサツーディ・ケイ)社と業務・資本提携を行っています。

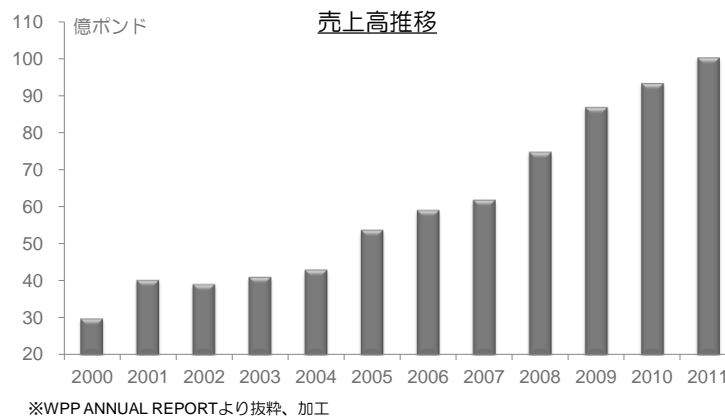
WPPの歩み

1985年 創業
 ・ワイヤー・アンド・プラスチック・プロダクツ社の経営権を取得

1986年～ 買収・拡大へ
 ・JWT (ジェイ・ウォルター・トンプソン) グループ (1987年)
 ・Ogilvy (オグルヴィ) グループ (1989年)
 ・Young & Rubicam (ヤング・アンド・ルビカム) グループ (2000年)
 ・Grey Global (グレイ・グローバル) グループ (2005年)
 など

WPPのウェブサイトより抜粋

ソレルは、元々広告代理店の財務出身であり、初めは WPP の事業も広告業の色が強い傾向にありました。しかし、2011 年の売上高事業構成を見ると、メディア投資を含む広告業の占める割合は 4 割程度に過ぎません。広告業の枠にとらわれず、広くマーケティングサービスを志向したことで、WPP は売上高 1 兆円規模にまで成長することができました。



2011年売上高事業構成比



※WPP ANNUAL REPORT 2011より抜粋、加工

“ We are no longer an advertising agency, we really are a communications services company.”

我々はもはや広告代理店ではない。真にコミュニケーションサービスカンパニーなのだ。

”

■ 調査・コンサルティング事業とカンター・グループ

WPPの調査・コンサルティング事業の再編は、1995年に行われました。すなわち、WPPは、事業統括会社としてカンター・グループを設立し、その傘下に複数の企業(グループ)を集約しました。ちなみに、カンター(Kantar)とは、綿(わた)の重量の単位のことです。



調査・コンサルティング事業は、2011年でWPPの売上高の約4分の1(約25億ポンド。日本円で3,000億円程度)を占めており、WPPの中核事業に成長しています。日本の市場調査業界の市場規模が1,731億円*であることを踏まえると、カンター・グループの手掛ける事業の大きさがうかがえます。

*日本マーケティングリサーチ協会による2011年の推計値。『第37回経營業務実態調査』から抜粋

■ WPP 会社概要

- 社名:ダブリューピーピー(WPP PLC)
- 本社:イギリス・ロンドン
- 代表:マーティン・ソレル
- 事業内容:広告・メディア投資、調査・コンサルティング、PR、ブランディングなど
- 上場市場:ロンドン証券取引所、ナスダック
- ウェブサイト:<http://www.wpp.com>

■ カンター・ジャパン会社概要

カンター・ジャパンは、前身企業から数えると日本で50年超の歴史を持つ市場調査会社です。13の企業(グループ)で構成されるカンター・グループに属し、日本だけでなく海外の消費者調査まで幅広く手掛けています。

- 社名:株式会社カンター・ジャパン
- 本社:東京都渋谷区代々木 2-1-1 新宿マインズタワー6F、7F
- 代表取締役:宮島正敬
- 事業内容:市場調査、およびそれに付随するアドバイザー業務
- ウェブサイト:<http://www.kantar.jp>

注1) 本資料で使用した売上高等は、ANNUAL REPORTなどWPPの公開情報に基づきます。

注2) 2011年12月の為替レート推移を参考に、計算では1ポンド120円のレートを用いました。